

国際交流

◆国際看護実習

看護学部4年次生のうち学内選考で選ばれた2名が、9月にシンガポールで2週間の実習を行いました。2名は、シンガポールのナンヤン理工学院(交流協定締結校)協力のもと、病院や保健施設の看護師の仕事を見学しながら、異文化における看護環境を学びました。事前準備として、各自選んだテーマに沿って質問事項をまとめ、語学学習にも力を入れました。実習では日本の健康システムを紹介したり、看護師や看護学生にインタビューをするなど積極的に活動した結果、日本との相違点について理解を深めることができました。現地の実習指導者から、2名とも素晴らしい看護師になるだろうという暖かいコメントをいただきました。



実習中のシンガポール看護学生達と



訪問看護基金オフィス前にて

◆シンガポール研修

9月7日～15日にかけて実施されたシンガポール研修に看護学部、社会福祉学部、リハビリテーション学部の学生計20名が参加しました。この研修は、シンガポールの中心的なヘルスケア専門職養成校であるナンヤン理工学院(NYP)と本学との交流協定に基づき毎年実施されるもので、2005年度に初めて学生を派遣してからこれまでに200名近くの学生が参加しています。

シンガポールのヘルスケアシステムが世界でも大変高く評価されていることはあまり知られていませんが、学生達は講義や医療福祉施設の見学を通して日本との相違点について考えることができました。また、同じ専門職を志す海外の学生との交流は帰国後日本での学修に良い刺激となりました。2014年3月には同学院から20名の研修生を本学で受け入れる予定です。



NYP学生とのワークショップ(作業療法)

著書紹介



『作業療法がわかるPBLチュートリアル Step by Step』

医学書院 2013年4月

編者：リハビリテーション学部 教授 宮前 珠子 / 同 教授 新宮 尚人

第一筆者がPBL(problem-based learning:問題基盤型学習)を強く意識したのは、2000年代初め、当時の勤務先、広島大学の医学部夏期ワークショップに岐阜大学から講師を招き、医学部ボランティア学生を対象とする岐阜大学のシナリオを用いたPBLの実際を見た時であった。多くの課題を含む興味深いシナリオを前に右往左往する広島大学3年生に対し、それは岐阜大学では1年生でも知っていると言う衝撃、そして、2002年の世界作業療法学会でもPBLのワークショップがあり、そこで出会ったシンガポール・ナンヤン理工学院のHua Beng先生から、ナンヤンではOT(作業療法)学生の教育にPBLを使っていると聞き、現実感を抱いた。以前から

講義形式の授業に疑問を持っていた筆者は、PBLを新しく始まる聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部作業療法学専攻(当時)で行いたいと考え、就任予定教員と相談し、専門科目をPBLで行うことに合意した。就任前から集まってシナリオの準備を始め、校舎の設計もそれを念頭にいき、またPBLの見学・情報収集をし、2004年の開設時からPBLを開始した。本書は、PBLの解説書でもあり、本学作業療法学科における開設からの6人の教員のPBL奮闘記でもある。



左から作業療法学科 建木助教、宮前教授、新宮教授



学報

2013.12
Vol. 42

SEIREI
CHRISTOPHER
UNIVERSITY REPORT



CONTENTS

- 聖灯祭&ホームカミングデー..... P1-2
- 実習奮闘記/聖書のこぼれ..... P3-4
- 就職支援/就職活動体験記..... P5-6
- クリストファーニュース..... P7-8
- 後援会より..... P9
- 研究助成..... P10
- 聖隷学園だより..... P11-12
- 私の教育・研究..... P13
- 健康管理センターより/お知らせ..... P14
- 国際交流/著書紹介..... 裏表紙

保健医療福祉の総合大学
聖隷クリストファー大学

1 聖灯祭

聖灯祭を終えて ~聖灯祭実行委員長より~

聖灯祭実行委員長
リハビリテーション学部 2年次生 笹田 教太郎 / 看護学部 2年次生 萩原 愛

今年の聖灯祭のテーマ「源～みんなのみなもと～」は、聖灯祭に来てくださった皆様の元気や笑顔や繋がりの「源」となればいいと思い、決定しました。野外ステージを設営したり、学生の模擬店や近隣施設の方々の出店を増やしたり、オブジェを作成したりするなど楽しく盛り上がる新しい工夫をすることができたと思います。今年は例年以上に来場された方が多く、当初の目的が達成された聖灯祭になりました。聖灯祭にご来場くださいました皆様、そしてご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



実行委員長の萩原さん(左)と笹田さん(右)



聖灯祭実行委員会メンバー

♥ 健康祭

看護学部は血圧測定やアロマハンドマッサージのブース、社会福祉学部は高齢者体験スーツの試着や心理テスト、リハビリテーション学部は体力測定(理学療法学科)や革細工作り体験(作業療法学科)、嚥下食の試食(言語聴覚学科)など、学科ごとの学びの特色が活かされた体験ブースのコーナーが設けられました。



🎵 サークル発表

野外ステージではブラスバンドサークル、軽音楽部、琴部、ハンドベルリンガーズによる演奏のほかコーラスサークル「コーロカリタ」やゴスペルサークル「オーリーブ」による発表などが行われました。



🏪 模擬店 & その他イベント

各サークルや有志の学生による食べ物の出店のほか、近隣施設の方々や教員によるバザーなど、たくさんの模擬店が開かれました。今年は「軽食エリア」、「しっかり食べたいエリア」、「楽しめるエリア」などエリア分けをしたこともあり、学内のいたるところで盛り上がりを見せていました。



子育てひろばたっくん:
こども教育福祉学科1年次生によるおもちゃ交流・読み聞かせ

今年もたいへん多くの方にお越しいただきました。
来年もホームカミングデーと聖灯祭は同日開催にて、11月1日(土)に行う予定です。

2 ホームカミングデー

ホームカミングデーを終えて

実行委員長 山口 すみ江
(短期大学2科1973年度卒業)

3連休の初日にもかかわらず多くの卒業生・修了生の方々にご参加くださり、ホームカミングデーを無事に開催することができました。皆様に感謝です。受付では、懐かしい友を見つけて駆け寄る光景や、恩師の方々にご挨拶をする光景を見て、私も胸が熱くなりました。ホームカミングデーを通して、教員そして卒業生である私達先輩、後輩が交流を深め、刺激し合って、保健医療福祉の専門職の連携を考える良い機会になったことと思います。学部毎、専門領域毎での勉強会でも、収穫が個々にあったのではと思います。卒業年度の末尾「3」が今年度の実行委員でした。仕事を終えてからの実行委員会は、正直大変だったと思います。ホームカミングデーを終えて、手ごたえある結果が得られ、苦労は消え喜びが増大したことを大変嬉しく思います。超高齢社会の中で、私達が果たしていく役割とは何なのか?地域社会の求めるニーズに応え、専門職としての役割を果たしていく為にも、この様な会は必要です。すべての卒業生・修了生に母校を生涯学習の場として、また拠り所として設けられたこの会を多に活用されることを願っております。また、次の実行委員へのバトンタッチをする事で、卒業生同士の繋がりが広がる事を切に願うと同時に、更なる発展をしていく事を願っております。



SEIREI Christopher

Event Report!

2013年11月2日
カミングデーを開催し、教職員の他、近隣にお住まいのお子様大勢の方にご来場いただきました。来場者数は過去最高となり、せた1日となりました。

(土)、聖灯祭とホームカミングデーを開催しました。在学生、卒業の福祉施設の方、周辺からご高齢の方まで、ただきました。来場者大変な盛り上がりを見せました。

領域(学部)ごとの交流会・勉強会

◆ 看護系



“聖隷学園の助産師教育の歴史と助産師の未来”について
講師:北川真理子先生、内山和美先生



「男性看護師今昔物語」
～男性看護師はどんなことを思っているの?～

◆ リハビリテーション系



1期生に聞こう

◆ 社会福祉系



キャリアステージごとの交流会



なんでも交流会



F級(FUKUSHI CLASS) グルメ&作品大自慢大会



話そう!!学ぼう!!高めよう!!

ホームカミングデー 参加者の声



国分 真佐代さん
大学院看護学研究科
2000年度修了

当日は久しぶりの友人や教職員の皆様との再会が懐かしく、本当に楽しく充実した時間を過ごしました。また、北川先生・内山先生の助産師教育に関する講演は優しさと熱意に満ち溢れていて、私も聖隷を拠り所として自分の仕事を頑張ろうという思いを新たにしました。今回、託児利用もできてとても助かりましたし、パーティーにも子供と一緒に参加できて心から感謝しています。本当にありがとうございました。聖隷の益々の発展を心から祈ります。



今泉 郁代さん
聖隷介護福祉専門学校
1993年度卒業

ウェルカムセレモニーからはじまり、領域別の交流会では、世代を超えて様々な卒業生の意見を聞くことができました。パーティーでは、10名近い同期が集まり、卒業写真のスライドショーを見ながら、思い出話に花が咲きました。会えなかった時間を全く感じさせない友の笑顔にたくさんのパワーをもらいました。卒業しても帰れる場所があるのは幸せな事です。ホームカミングデーは、いつも「おかえり」と私たちを温かく迎え入れてくれる、そんな場所であり続けてほしいと願っています。



鵜原 瑠奈さん
リハビリテーション学部
(作業療法専攻)
2009年度卒業

領域毎の交流会では、先輩が講演者として経験談や考え方などをお話くださり、とても勉強になりました。ディスカッションでは、日頃感じている疑問や専門的な知識について先輩とじっくり話す機会があり、先輩の経験なども聞くことで、より専門的な知識を深めることができました。色々な方の様々な意見を聞くことができ、とても楽しい会でした。

SEIREI Christopher Topics 特集 実習奮闘記!

看護師や理学療法士などの国家資格取得を目指す本学の学生は必ず実習を経験します。種類があり、また学部・学年によって内容・期間が異なります。今回は、看護学部とリハビリテーション学部の4

指す本学の学生は必ず実習を経験します。種類があり、また学部・学年によって内容・期間が異なります。今回は、看護学部とリハビリテーション学部の4



実習名

統合実習 (母性看護学領域)

時期：4年次7月(2週間)



看護学部 看護学科
まきの あいこ
4年次生 牧野 愛子さん

Q1. 今回の実習の内容について教えてください。

母性看護学領域の統合実習では夜間帯実習も行うことで褥婦さんの生活を24時間でとらえ、夜間の生活とそのニーズも把握すること、さらに複数の褥婦さんを受け持つことで優先順位を考え、ケアを実践しながら、自分のテーマについて学びを深めました。

Q2. 実習の中で、感じた事・学んだ事はなんですか。

夜間母子同室の褥婦さんは一晩中電気をつけた状態で授乳と休息を繰り返しており、不安になりやすい時間帯であることから寄り添うような援助をすること、また褥婦さんが自分のペースで休息をとれるよう配慮することの必要性を学びました。褥婦さんによって心身の状態は異なるけれど、一人一人に向き合い、積極的に介入し、状態が好転するような支援をすることが大切であると改めて学びました。

Q3. 実習での経験をどのように生かしていきたいですか。

妊産婦さんの心身の状態にきちんと着目し、適切なタイミングで必要な援助をしていくこと、継続的な視点で対象をみていくことを、今後も意識して関わりたいです。

担当教員より くろの ともこ 黒野 智子 准教授

牧野さんは、子どもの泣き声に不安を感じながら慣れない育児に戸惑うお母様に対し、少しでも心地良くなっていただこうと授乳の合間に足浴をしたり、母子相互作用を促すような沐浴指導をおこなったりと、きめ細やかなケアを実践できていたと思います。助産学専攻科への進学も決まり、更に学びを深めて、お母様と赤ちゃんに寄り添える素敵な助産師になることを期待しています。



実習名

臨床実習Ⅱ

時期：4年次4～5月(8週間)



リハビリテーション学部(作業療法学専攻)
はしもと みさ
4年次生 橋本 実紗さん

Q1. 今回の実習の内容について教えてください。

脳出血を発症し、左片麻痺を呈した女性の患者さんと関わらせていただきました。実習では、片手でも家事が行えるように自助具の作成と、患者さんの病前からの趣味であった園芸を一緒に行わせていただきました。

Q2. 実習の中で、感じた事・学んだ事はなんですか。

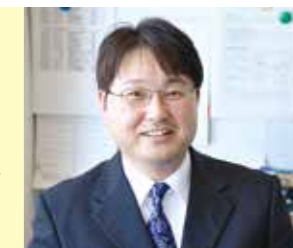
私はあまりコミュニケーションが得意ではないのですが、先生から「自分から話しかけるばかりでなく、傾聴を大切にしてみてください」というアドバイスをいただき、実践してみました。患者さんと関わる時に、悩みや日頃のお話に耳を傾けたところ、臨床実習指導の方から「ゆっくり話を聞いてくれたから不安も軽減されていたみたい」と言ってくれました。

Q3. 実習での経験をどのように生かしていきたいですか。

自分から働きかけるなどリーダーシップを取ることでなく、どんなことでも患者さんが話することができるような関係づくりと、患者さんの思いや不安に感じていることなどを傾聴することを今後も大切にし、生かしていきたいです。

担当教員より しんぐう なおひと 新宮 尚人 教授

臨床実習も半ばにさしかかり、私が実習地へ訪問した時のお話ですね。誰でも「ちょっと苦手だな…」と思った時にはその場面を避けたいものです。しかし橋本さんは「何か自分にできることはないか…」と苦手な場面と向き合おうとしているように見えました。人の個性は、場面により強みにも弱みにもなります。積極的にリードすることが苦手であれば、「聞き役に徹すること」で、その方の気持ちを汲み取れる場合があります。「主役は対象者であること」それに気づくことができたのは大きな収穫だと思います。



実習名

介護実習Ⅰ

時期：1年次8月(6日間)



社会福祉学部 介護福祉学科
えのきだ
1年次生 榎田 なつ の さん

Q1. 今回の実習の内容について教えてください。

デイサービスと有料老人ホームで各3日間の実習を行いました。どのような利用者さんがいるか、どのような支援を受けているかを知り、それぞれの施設の違いや果たす役割など特徴を知るとともに、実際に利用者さんと関わる中でコミュニケーション技法の実践を図りました。

Q2. 実習の中で、感じた事・学んだ事はなんですか。

利用者さんとコミュニケーションを図り、行動を観察し、その方の人柄や癖、活動意欲はどのようなものか、理解することに努めました。うなずきや相槌を打つことの重要性や、沈黙もひとつのコミュニケーションであることを学ぶことができました。また1人1人の利用者さんを理解し、その方に合った支援をすることの大切さ、情報や問題を職員同士で共有することが、質の高いケアにつながることを学びました。

Q3. 実習での経験をどのように生かしていきたいですか。

今回、実践し学ぶことができた利用者の方と積極的に関わる姿勢とコミュニケーション技法を次回の実習で生かしていくとともに、広い視野を持ってより多くのことに気づくことができるようにしていきたいです。

担当教員より の だ ゆかり 野田 由佳里 准教授

1年次生にとっては初めての実習であり緊張したことと思います。いつも元気パワーの榎田さんは、利用者さんの話を真剣な眼差しで聞き入れ、柔らかい笑顔で受け答えしている姿が自然で何とも温かい雰囲気を出していました。利用者さんの「思い」を受け止めつつ、「必要な支援」を把握し、実際の支援に繋げていくためには、根拠となる知識や技術が求められます。大学では対人援助職としての資質磨きと共に、系統立てた学びをしてください。更なる成長を期待しています。



シリーズ 聖書のことば「長谷川保と聖書」

「エッセイの株からひとつの芽が萌えいで その根からひとつの若枝が育ち・・・」

(聖書イザヤ書11章1節-5節)



長谷川保先生が愛用した聖書には、余白を埋め尽くす書き込みがある

三方原のキャンパスは様々な木々に囲まれている。アドヴェントの時を迎え、クリスマスに活躍する樹木たち、その中のやどりぎ(mistletoe)を探そうと、周辺の逍遥をこころみた。やどりぎは呼称に見るとおり、神秘的な常磐木(an evergreen tree)であり、その宿主樹木は広範にわたる。この木への言及は万葉集「あしひきの山の木末の保与取りて 挿頭しつらくは千年寿くとぞ」、そして源氏物語の巻名「宿木」にも認められ、古より洋の東西を問わず愛でられていたことが判る。

それぞれの家庭では牧童、家畜や占星術の学者等々の人形でイエスの降誕場面(クリブ:crib等々さまざまな

呼称がある)を飾り付け、イエスの降誕を待ち望む。イザヤ書1章3節には「牛は飼い主を知り ろばは主人の飼ひ葉桶を知っている。しかし、イスラエルは知らず・・・」と記されている。一説にはアッシジのフランチェスコがこの聖句に基づいて飾り付けを創めた、と言われる。飼ひ葉桶は24日の夜まで空虚のまま何も入れない。

冴えわたる冬の夜空に響き渡る「天地悠久クリスマス来たる」という天使らの讃栄が、世界中に注がれますように。

そして、主イエスの恵みが学生に、ご家庭に、本学の上に満ちるように、と祈る。

聖隷学園宗教主任 永井 英司

就職支援 2013年度 就職内定状況 速報

2013年度に卒業・修了予定の学生は342名で、11月25日現在、就職の内定と大学院・助産学専攻科等の進学が決まった学生は266名にのぼります。内定率は例年同様に約80%です。看護学部、リハビリテーション学部、社会福祉学部ともに順調に内定をいただいています。リハビリテーション学部の多くの学生は、就職活動を進行中であり、採用試験に臨んでいます。求人が遅い社会福祉学部の精神保健福祉や児童福祉関係我希望している学生、リハビリテーション学部の小児・発達の領域を希望している学生は、求人待って、これから就職活動をしていきます。

また、3年次生は、秋 semester の就職ガイダンスを終えました。これから4年次生による就職活動報告会やSPI対策模擬試験、スキルアップ講座、キャリアデザイン講座、履歴書の

書き方・面接の受け方講座など就職支援行事が始まっていきます。

1・2年次生には授業、学生生活を大切にするように就職ガイダンスで説明しました。

2013年度内定状況	卒業予定者数(名)	内定者数(名)	大学院・助産学専攻科等進学者数(名)	内定率(%)
看護学部	146	128	7	92.5
助産学専攻科	17	13	0	76.5
社会福祉学科	28	18	1	67.9
介護福祉学科	15	15	0	100.0
こども教育福祉学科	40	29	1	75.0
理学療法学科	34	22	0	64.7
作業療法学科	40	25	0	62.5
言語聴覚学科	22	7	0	31.8
大学計	342	257	9	77.8

(2013年11月25日現在)

就職活動体験記

今年度、既に希望の就職先から内定を得ることができた4年次生のお話を紹介します。



看護学部看護学科
みずの りさ
水野 莉沙さん
内定先
社会福祉法人
聖隷福祉事業団
総合病院
聖隷三方原病院
職種 看護師

Q.どのように就職活動を行いましたか？

私が就職活動を本格的に始めたのは4年次生の実習が終わった7月末頃からです。大学で開催された就職説明会に参加し、いろいろな病院を比較し、自分自身で特徴を捉えるようにして行きました。また、病院独自の説明会にも参加し、ある程度病院が決まってきたら、インターンシップに参加させていただきました。インターンシップは実習とは違った視点で、実際の病院内の雰囲気や先輩である看護師さんたちの生の声を聞くことができました。情報を得て病院の特色を知っていくたびに、「ここに就職したい」という思いが深まって行きました。

Q.就職活動について後輩の皆さんにアドバイスをお願いします。

就職先を選ぶ際にたくさんの情報があって、自分の意思が定まらないという状態になることもあると思います。人によって同じ情報でも捉え方が違う場合もあるので、自分の感覚で捉えることができるように、インターンシップや説明会をうまく活用して就職活動を進めていってほしいと思います。



リハビリテーション学部
(理学療法学専攻)
なかむら りか
中村 都さん
内定先
磐田市立総合病院
職種 理学療法士

Q.どのように就職活動を行いましたか？

私は、実習先であった磐田市立総合病院に就職したいと思い、就職活動を始めました。就職試験が臨床実習終了から1週間後であったため、実習中にエントリーシートを作成し、一般教養の試験勉強を行いました。実習後には、就職センターの方や先生に面接練習を行っていただきました。

就職試験の時期が早く、他の学生はほとんどが就職活動を行っていなかったため、どのようにして就職活動を行って

いったらいいのか分からず、戸惑うこともありましたが、分からないことなどは、先輩方の就職活動報告書を参考にしながら、先生や先輩に相談し、どのようにすべきかを自分なりに考えて行っていました。就職活動を乗り切ることができたのは、先生や先輩方のご支援と友人の応援があったからこそです。



社会福祉学部
こども教育福祉学科
さとう あゆみ
佐藤 愛由美さん
内定先
社会福祉法人
みんなの森福祉会
くすのき保育園
職種 保育士

Q.内定先を志望した理由を教えてください。

この保育園を志望した理由は、私が興味のある障がい児や異年齢保育に力を入れていたからです。同じような園は他にもありましたが、何箇所かで見学やボランティアをさせていただく中で、この園の家庭的で温かい雰囲気に惹かれました。子ども達が伸び伸びと安心して生活し、保育士の方々も子どものことを一番に考えながら子どもとともに楽しんでいる姿を感じ取ることができました。私もこのように子ども達が安心して生活できる空間で保育をしたいと感じたからです。



社会福祉学部
(社会福祉学専攻)
しばた たかし
柴田 隆さん
内定先
社会福祉法人
聖隷福祉事業団
職種 事務職

Q.参考になった大学での就職支援行事を教えてください。

福祉系の就職説明会や学内での聖隷福祉事業団の説明会です。福祉系の説明会では、いろいろな法人の話聞くことで希望の就職先との比較などをすることができたため、企業研究の意味でも大いに役に立ったと思います。

就職支援行事の様子

就職活動報告会

4年次生から実際どのような就職活動を行ったのかを聞くことができます。



卒業生による仕事報告会

卒業生から、現在勤務している職場のことや進路選択のきっかけ、学生のうちに取り組んでおくことなど、業務経験を積んだからこそそのアドバイスを聞くことができます。



就職マナー講座

就職活動に向けて社会人としてのマナーについて演習を踏まえながら学びます。



サミュエルメリット大学(アメリカ)と 大学間交流協定を締結しました

11月4日～5日の2日間にわたり、サミュエルメリット大学(アメリカ カリフォルニア州)のSharon Diaz学長ら6名が本学を訪れ、学生・研究者の交流、専門知識の共有、プロジェクトの協働および相手校における継続教育に対する興味・関心の醸成を促進するための交流協定を締結しました。本学と同大学との交流は、本学教員と同大学教員との学術的なつながりに始まり、学生の研修等も

含む全学的な交流を目指し2011年度より計画的に準備を進め、同大学の教員を本学に招聘しての特別講演・講義や本学の教職員による同大学への訪問など相互理解を深めてきました。アメリカ西海岸の中心的なヘルスケア専門職養成機関として知られる同大学との交流協定締結により、日本国内のヘルスケア専門職の養成と能力開発に、より一層寄与していきたいと考えています。



調印式にて
前列中央左よりDiaz学長、小島操子学長

ボランティアセンターとボランティアコーディネーター

大学1号館1階学生プラザ内のボランティアセンターでは、ボランティアコーディネーターが収集したボランティア情報をメール、フェイスブック、掲示などを通じて発信しています。コーディネーターは学生からの相談を受け付け、本学に寄せられるボランティアの依頼の中から、希望に添ったボランティア活動を直接紹介し、アドバイスを行っています。また、大学では全学共通科目として、今年度

から「ボランティア演習」という授業科目を開講しました。ボランティア活動の記録・報告書の提出とボランティア報告会を経て単位が認定されます。

「学生みなさんが笑顔でボランティア活動ができ、小さな活動でも社会に貢献できるよう支援することを心がけています。どうぞよろしくお願ひします。」
(ボランティアコーディネーター 塚田博美)



ボランティアコーディネーターの
塚田博美さん

社会福祉学部 国際福祉実習の 実習受け入れ先を訪問しました

社会福祉学部長・教授 横尾 恵美子

社会福祉学部の国際福祉実習では、実際に海外に出て様々な社会福祉事情や文化を体験し、学び、国際的な視野を養うことができます。今回、インドと韓国の実習受け入れ先を視察・訪問してきましたのでご報告いたします。

南インドのケーララ州にある聖隷希望の家は、1989年に開設された知的障がい児者のための施設です。現在は4歳から58歳までの約70人の方が利用しています。この施設の施設長でもありソーシャルワーカー(福祉専門職)のアブラハムさんは、施設を建てる前に日本に来て、長谷川保先生より社会福祉事業について学びました。この国では、福祉制度が十分整っているとはいえず、施設の運営資金は寄付により賄われています。入所の方は施設で勉強をしたり、就労作業などを行っています。日本のような社会福祉士や介護福祉士といった資格制度はなく、この施設の職員はspecial teacherという1年から2年の障害児教育を学んだ方々です。アブラハムさんや職員の方

は入居者と一緒に食事をし、職員の何人かは施設に住み、家族のように一緒に暮らしていました。スーパーやコンビニはなく、ほぼ毎日停電があり、制度の整備も進んでいないこのような発展途上国の生活や福祉を学ぶことは、聖隷の理念「困難な人とともにいる」に通じるものが多くあり、学生の深い学びに繋がると確信しました。

韓国・ソウル市内にある社会福祉法人東明園には、老人福祉センターと高齢者の介護施設、児童福祉センター、児童養護施設があります。これらは、2010年に韓国における施設評価で「A等級評価」を受けた設備の整った施設です。高齢者施設には各フロアに小さな台所があり、それぞれの居住フロアでも簡単な料理は作れるよう



インド：新設された職業訓練センターの前で

になっており、日本でいうユニットケアを実践しているようでした。施設内には、本学の学生たちが作った千羽鶴が飾られており、理事長の金さんはじめ職員の方々は日本から実習生が来るのを大変楽しみにしてくださっていました。

児童養護施設には、両親と生活できない子どもたちが入所しています。訪問時に出会った子どもたちはみな、明るく楽しそうに職員たちと過ごしていました。施設長からは、3歳未満の乳幼児の入所が増加していること、韓国でも保護者による児童虐待が問題となり、入所している子どもの半数以上が何らかの精神的な問題を抱えているという話を聞きました。東明園は韓国の高齢者福祉と児童福祉について学べる大変素晴らしい施設でした。

保健福祉実践開発研究センター

2013年度 公開講座実施報告

市民公開講座 「発達障がいの特性の理解と支援」

6月15日(土)実施 講師：和久田 学 氏 (一般社団法人子ども発達科学研究所浜松オフィス所長)

発達障がいの特性や最新の情報について、また、発達障がいのある方に対してどのような支援が望ましいのか、現場での具体的な取り組みの方法などを和久田学先生による基調講演と本学社会福祉学部大場准教授との対談を通してお話いただきました。幼稚園・小学校教諭など教育関係者ほか一般市民の方、計213名が熱心に聴講されました。受講者アンケートには「少し気持ちが楽になった」、「接し方を知ることができ、今後に生かしていきたい」、「新しい情報が得られ、視野が広がった」など受講を通し、多くの学び・ヒントを得ることができたようでした。



講師の和久田学先生



大場准教授との対談

専門職対象公開セミナー 「介護事業におけるリーダーシップ」

7月20日(土)実施 講師：高橋 義孝 氏 (株式会社ケアクオリティ代表取締役社長)

講師の高橋先生ご自身の体験談を踏まえた介護福祉現場におけるリーダーシップの在り方や具体的な取り組みの方法などについてわかりやすくお話いただきました。主に現在職場でリーダーの役割である方、これからリーダーになっていくためのスキルを学びたいという保健・医療・福祉の専門職の方、計135名が熱心に聴講されました。受講者アンケートには「考えの視野が広がった」、「今後、仕事のなかで生かしていけるものを学ぶことができ大変良かった」など、多くのことを学び取っていただけたことが伺えました。



講演の様子



本学村准教授との音楽セッションも披露していただきました。

2013年度 保護者懇談会の報告

保護者懇談会は、保護者の皆様と大学とのコミュニケーションを図る場として、保護者の皆様に大学にお越しいただき、教育環境や教育の現状、目的、課題などについてお話しを聞いていただくとともに、学業や学生生活、就職、健康面などについて教職員に直接相談して安心していただくことを目的として、聖隷クリストファー大学後援会の協力を得て、学部ごとに開催しています。今年度は7月6日に社会福祉学部、10月12日に

リハビリテーション学部の保護者懇談会を開催しました。10月26日に予定していました看護学部の保護者懇談会は、台風27号の接近に伴い、安全確保と混乱を避けるため、やむなく中止とさせていただきます。天候の都合とはいえ、ご出席を予定されていた皆様には、誠に申し訳ございませんでした。なお、次年度も保護者懇談会の開催を予定しています。是非ともご参加いただければ幸いです。

■今年度の開催状況

学部	開催日	参加者数	
社会福祉学部	2013年 7月 6日(土)	社会福祉学科(専攻)	30組 37名
		介護福祉学科(専攻)	17組 22名
		こども教育福祉学科	52組 64名
リハビリテーション学部	2013年10月12日(土)	理学療法学科(専攻)	55組 74名
		作業療法学科(専攻)	62組 82名
		言語聴覚学科(専攻)	40組 47名



校舎見学:在学生による 実習室の案内(社会福祉学部) 学科別懇談会:教員紹介 (リハビリテーション学部) 新校舎および移転・拡張した 聖隷歴史資料館の見学

今年も大変多くの方にご参加いただきました。ありがとうございました。

主なプログラム

学科・学年別による懇談会

昼食

個別相談・校舎(実習室等)見学

※懇談会の形式や見学でご案内する実習室は学部ごとに異なります。

保護者の皆様へお知らせ

10月7日から食堂のメニューの内容を一新しました

大学後援会の補助により運営している学生食堂のメニュー内容が10月7日から一新されました。価格を抑えつつ栄養バランスが整ったランチセットやアラカルトメニューなど新メニューが追加されました。今後も満足度の高い食堂運営を目指し、在学生満足度調査や保護者満足度調査の声を参考にするなど、継続して見直しを図っていきます。



ディスプレイも見やすく 彩りよくリニューアルしました

保護者満足度調査アンケートのご協力をお願い

12月下旬、大学後援会より全学部学生の保護者様宅へ「保護者満足度調査アンケート用紙」をお送りします。大学の改善・改革につなげるため、是非回答にご協力くださいますようお願いいたします。なお、郵便によるメ切は1月17日(金)、インターネットによる回答のメ切は1月19日(日)です。大学1号館1階総務部前にも回収BOXを設けています。本調査は無記名で実施いたします。率直なご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

今年度の卒業式・卒業パーティは3月10日(月)に行います

「2013年度卒業式・修了式」はアクティビティ浜松中ホールにて、「卒業パーティ」はグランドホテル浜松にて、2014年3月10日(月)に行います。卒業年次生の保護者の皆様には追ってご案内状をお送りいたします。多くの保護者の皆様のご出席をお待ちしております。

2013年度科学研究費助成事業 採択課題

科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金/科学研究費補助金)は、人文・社会科学から自然科学までのあらゆる分野にわたり、独創的・先駆的な研究を進展させることを目的とする公募型研究助成制度であり、「競争的研究資金」としては日本国内で最大規模の制度です。本学でも科学研究費獲得に向けた様々な取り組みを実施し、2013年度は本学としてははじめて基盤研究A(応募額2,000万円以上)が採択された他、新規に13件の研究課題が採択され、継続課題18件と合わせ、大学として31件の採択件数となりました(研究代表者としての採択件数のみ)。

2013年度の科学研究費助成事業配分額は、1件以上の配分を受けている私立大学が全国に557校ある中、152番目となっており、医学部・薬学部を有しない医療・福祉系大学の中ではトップクラスの成績となっています。

区分	学部	領域・学科	職位	氏名	研究種目	研究課題
新規	看護	基礎看護学	准教授	篠崎恵美子	基盤(C)	インタラクティブボディガイドを活用したフィジカルアセスメント学習システムの構築
		成人看護学	助教	井上菜穂美	若手(B)	急性期病院から在宅移行する終末期がん患者の生活を支援する看護実践プログラムの開発
		精神看護学	准教授	篁 宗一	萌芽	乳幼児および保護者を対象としたメンタルヘルス教育の開発に関する基礎的研究
		在宅看護学	講師	山村江美子	基盤(C)	訪問看護師による家族の歴史の意味再構成看護実践プログラムの開発
	社会福祉	こども教育福祉学科	助教	細田直哉	萌芽	「保育環境のアフォーダンス事典」の開発——環境構成の基礎理論を求めて
	リハビリテーション	理学療法学科	准教授	吉本好延	若手(B)	消防本部と連携した高齢者の転倒予防システムの構築
		作業療法学科	准教授	伊藤信寿	基盤(C)	発達障害児の教育に携わる保育士・教師版支援プログラムの開発
		言語聴覚学科	教授	佐藤順子	基盤(C)	認知症に伴う精神症状の疾患別特徴に適した行動的介入療法の開発とQOLの検証
			教授	原田浩美	基盤(C)	聴覚障害児を持つ親への支援プログラムの開発—親の自己効力感を高める支援—
			准教授	池田泰子	基盤(C)	特別支援学級担当教諭に効果的な支援を行うためのコンサルテーションシステムの構築
講師			足立さつき	基盤(C)	乳幼児から学童期の発達障害児の包括的言語・コミュニケーション評価の開発研究	
聖隷浜松病院	臨床教授	勝原裕美子	基盤(A)	国民への看護の可視化に向けたデータベースの構築		
聖隷三方原病院	臨床准教授	山崎律子	基盤(C)	若い看護師のパフォーマンスを上げる支援・支持型教育システムの構築		
継続	看護	基礎看護学	教授	藤井徹也	萌芽	特定看護師へのクラウド型Advancedフィジカルアセスメント教育ツールの開発
			助教	炭谷正太郎	若手(B)	新人看護師の血管確保成功率が向上する技術トレーニングプログラム
			助教	榎原理恵	萌芽	離職行動に影響する因子としての看護師の組織文化の捉え方の分析 —価値基準との比較
	成人看護学	助教	藤浪千種	若手(B)	手術を受けた高齢の胃がん患者への教育支援プログラムの開発	
		助教	小池武嗣	萌芽	離島で働く保健師の現状とネットワーク形成の意義	
	老年看護学	准教授	梅本充子	基盤(C)	地域在住高齢者における音や匂いを刺激とする新たな手法の回想法の効果	
	母性看護学	准教授	黒野智子	基盤(C)	妊娠から継続的に行う父親のための母乳育児支援教育プログラムの開発	
		助教	室加千佳	若手(B)	NICU退院児の在宅移行看護モデルの考案	
	精神看護学	准教授	入江 拓	基盤(C)	里親不調による里子との離別を体験した里親のメンタルヘルスとそのケアに関する研究	
		准教授	小平朋江	基盤(C)	精神看護学教育のための総合失調症の奮闘記の分析	
	在宅看護学	教授	酒井昌子	基盤(C)	非がん高齢者終末期ケアへの介入タイミングを支持するアセスメントツールの検討	
	養護教諭	教授	長峰伸治	基盤(C)	思春期・青年期の自閉症スペクトラム障害者の対人交渉スキル支援プログラムの開発	
		准教授	成松美枝	基盤(C)	アメリカの大学における教師教育改革の実証的研究	
		助教	高橋佐和子	基盤(C)	大学生の大麻等薬物乱用防止教育プログラムの開発	
	社会福祉	社会福祉学科	教授	横尾恵美子	基盤(C)	管理職の意識が労働環境に及ぼす影響:介護従事者の離職を防ぐための管理職のあり方:
			准教授	福田俊子	基盤(C)	専門家としての自己生成プロセスにおける「痛みを伴う臨床体験」がもつ意味の探究
リハビリテーション	理学療法学科	教授	大城昌平	基盤(C)	早産児の「発達ケア」モデル構築とその効果に関する研究	
	作業療法学科	助教	建木 健	若手(B)	脳損傷者の自動車運転再開プログラムの開発	

※科学研究費助成事業の研究種目

基盤研究	1人又は複数の研究者が共同して行う独創的・先駆的な研究(期間3~5年)。	若手研究	39歳以下の研究者が1人で行う研究(期間2~4年)。	挑戦的萌芽研究	独創的な発想に基づく、挑戦的で高い目標設定を掲げた芽生え期の研究(期間1~3年)。
	応募額によりA・B・Cに区分		応募額によりA・Bに区分		1課題500万円以下
	(A) 2,000万円以上5,000万円以下 (B) 500万円以上2,000万円以下 (C) 500万円以下		(A) 500万円以上3,000万円以下 (B) 500万円以下		

2013年度学外研究・活動助成金 採択課題(科研費を除く)

学部	領域・学科	職位	氏名	配分機関	申請課題名
看護	成人看護学	准教授	豊島由樹子	聖隷浜松病院	患者のセルフケア能力を引き出すための情報共有に関する研究
	小児看護学	教授	市江和子	聖隷浜松病院	CAPSS周産期チェックリストの見直し
	精神看護学	准教授	篁 宗一	財団法人メンタルヘルス岡本記念財団	精神疾患の早期予防を目的とした中学校へのアウトリーチ活動の実践による効果評価

聖隷クリストファー中・高等学校

祝 鈴木翔太投手 中日ドラゴンズドラフト1位指名

10月24日(木)運命のドラフト会議が行われ、本校の鈴木翔太くんが中日ドラゴンズより1位指名されました。聖隷クリストファー高等学校野球部として初のプロ野球選手誕生となりました。2年生のときは夏の大会でベスト4に残り、プロから注目を集めました。しかし、春先に肘の怪我のため、一度はプロを諦めかけていました。しかし、チームメイトの支えもあり、3年生ではベスト8で終わりはしましたが、自分のピッチングを取り戻し、精神的にも成長することができました。ドラフト後は、普通の高校生が、一夜にして世間からの注目を浴び、本人にとっては大変なことですが、必ず通り抜けなければならないことでもあります。聖隷クリス

トファー高等学校出身として誇りをもってプロの世界で頑張ってもらいたいと思います。これからも応援のほどよろしくをお願いします。



収穫感謝祭

中学校では、10月31日(木)、本校野球グラウンドにて、恒例行事である収穫感謝祭を行いました。今年は天候にも恵まれ、生徒たちはグループごとに趣向を凝らした料理を作ることができました。調理には一斗缶を加工したコンロを使用し、材料には中学2年生が人間探求(労作)の授業で育てたサツマイモを用いました。17世紀にアメリカ大陸に渡ったピューリタンたちが、アメリカ先住民の助けで飢えを耐え忍び、神の恵みに感謝したように、生徒たちも収穫できた食べ物

に感謝をし、分かち合うことの大切さを感じる契機となりました。



長期留学生4名を迎えています

今年度も長期留学生を本校に迎えています。ドイツからペテルくんとモナさん、デンマークからティアさん、そしてスイスからキアラさんの4名です。本国では制服のない学校に通っている留学生たちは、本校の制服を身につけて毎日嬉しそうに登校しています。「おごぶかいをためて、できれば制服一式を買って帰りたい」という生徒もいます。日本語の学習年数はそれぞれ違いますが、日本語を学び、日本での生活から多くのことを学びたいと、積極的な態度で日々の学校生活を送っています。来年6月までの滞在となりますが、それまでに随分日本語も上達するのではないかと期待しています。



研修旅行を終えて

高等学校では、10月に2年生が研修旅行に行ってきました。行き先は、アメリカ、オーストラリア、北海道、沖縄の4コースからの選択制でした。アメリカコースでは、出発直前にグランドキャニオンが閉鎖されるという異例の事態が起こり、訪問地の変更を余儀なくされました。また、沖縄コースでは、台風のために出発の飛行機が欠航し、翌日の出発となりました。例年に無い珍しい事態が重なった研修旅行となりましたが、終わってみれば、どのコースにおいても生徒は楽しく大変充実した期間を過ごし、それぞれの研修の目的を十分に果たすことができました。この研修旅行を通して、互いの親睦もさらに深まったようです。



聖隷クリストファー大学附属



クリストファーこども園 総園長
聖隷クリストファー大学 社会福祉学部
こども教育福祉学科長・教授

太田 雅子



プレイデーを開催しました

10月12日に3~5歳児クラス、19日に0~2歳児クラスのプレイデーを開催しました。こども園の2学期のテーマとして「心と体の軸を作る」を掲げ、プレイデーにおいても軸を育てることを目標としました。0~2歳児のプレイデーは、親子の触れ合いや一緒に遊びを楽しむことに重点が置かれました。楽しさ・面白さを共有し、愛情をいっぱい注がれた子どもたちには、しっかりと心と体の軸が作られて行くことでしょう。また「親子でバランスポールに乗ろう!」「親子でキャタピラで進もう!」など体幹(コア)の育ちをねらった種目がありました。3~5歳児にもコアキッズ体操や組体操など、日頃保育の中でコアを鍛えるために取り入れてきた遊び・活動が種目となり、日頃の成果を見てもらう機会となりました。今年のプレイデーの準備や当日の手伝いには、こども教育福祉学科の2・3年次生がボランティアとして加わりました。ただ参加するだけでなく、保育者の動きや行事の進行について直接見て理解し、レポートにまとめて考察することを行いました。学生の学びの機会に加えて、今後は、こども園と学生と一緒に行事を作り上げるという段階にまで至ることができたらと願っています。



お芋堀りをしました

クリストファー中・高等学校の労作農園の一角をお借りして春に植え付けたお芋の収穫時期を迎えました。夏には保護者の方々と一緒に雑草取りを行い、土の中に大きなお芋がたくさん実っていることを期待しながら、掘り出す日を待ちわびていました。秋、いよいよお芋掘りの日、大きなお芋がつかって出てきたことに目をまろくし、歓

声が上がりました。こんなにも素晴らしい体験ができたのは、日頃からこども園のことを心にかけて、畑の管理などをしてくださっている中・高等学校の先生や生徒の皆さんのご協力があったからです。大学生たちも除草ボランティアを行ってくれました。こども園の教育が多くのみなさんに支えられていることを感謝いたします。



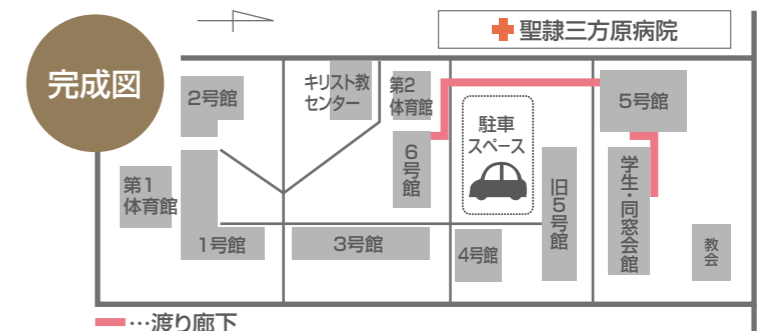
法人事務局より

大学キャンパス整備プラン 渡り廊下の増設

聖隷学園法人事務局では、2013年度事業計画に基づいて大学キャンパス整備計画を推進しています。その一環として、地震に対するリスクを低減するため、2013年7月から耐震性の低い旧5号館(新棟)の解体工事を行いました。

引き続き、5号館と6号館をつなぐ渡り廊下および学生・同窓会館への渡り廊下の増設工事を行いました。これにより、各校舎間を雨に濡れずに行き来ができるようになりました。また、6号館の北側には、駐車場不足

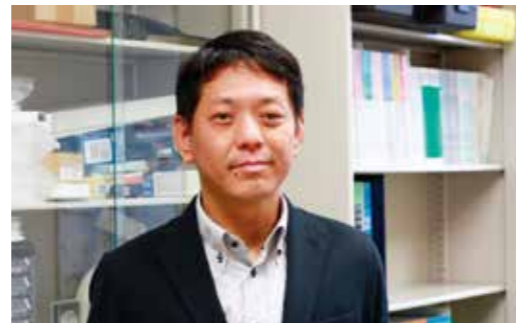
を解消するために、約50台駐車可能な臨時駐車スペースを整備しました。さらに、キャンパス周辺の駐車場整備に必要な準備を進めています。



連載 私の教育・研究

臨床を豊かにするために!!

リハビリテーション学部 理学療法学科長・教授 **西田 裕介**



- ◆最終学歴: 国際医療福祉大学大学院博士後期課程修了(博士:保健医療学)
- ◆所属学会: 日本理学療法士協会、理学療法科学学会、日本体力医学会、日本老年医学会 他

Q1 先生の学びのきっかけと専門分野について教えてください。

A. 私の専門分野は、理学療法学です。その中でも内部障害系(呼吸器・循環器・代謝)疾患患者に対する理学療法ならびに高齢者の理学療法を専門としています。理学療法士は様々な病態から引き起こされる正常メカニズムの破綻やそれにより引き起こされる二次的障害に対し

て、運動・物理的刺激・義肢や器具などにより治療する専門職(国家資格)です。その対象は幅広く、子供からお年寄りまで、また、医療・保健・福祉分野や健康増進、産業分野まで活躍の場は大きく拡大しています。そのため、今後ますます国民からの需要は高まっていく職業であ

り、その期待に応えるためにも、一人でも多くの優秀な理学療法士の輩出と科学的根拠のある治療実践のために、日々、教育・研究に情熱を注いでいます。

Q2 大学院ではどのような学びができますか。

A. 私はリハビリテーション科学研究科にて、生体機能理学療法解析学領域を主宰しています。2013年度は、博士前期(修士)課程10名、博士後期課程12名の合計22名の大学院生が在籍しています。博士前期(修士)課程では、臨床を豊かにするための研究手法の習得を目標に、仮説検証による推論過程を通して学修していきます。博士後期課程では、一人前の研究者になることを目標に、研究に必要な様々な活動を自立して行い、その研究領域におい

てオリジナリティの高い独創的なテーマを扱っていきます。また、研究室では毎月第2・4金曜日(変更あり)の20時30分から定例勉強会を開催しています。この勉強会は広く一般にも公開しており、現在は東京や伊豆、大阪や徳島といった全国の理学療法士の方に遠隔会議システムを用いて参加していただいています。興味のある方はぜひご参加ください(職種は問いません)。その他にも年1回(毎年9月)は研究室解放(オープン・ラボ)もしており、毎年多くの方

に参加していただいています。研究室の活動は、研究室ホームページ(生体機能理学療法解析学研究室: <http://www.seitai-pt.com/>)に掲載しています。ぜひ、ご覧ください。



夏期勉強会宿: 2013年度の大学院生と

Q3 関心のある研究領域について教えてください。

A. 現在、本研究室では、次のようなテーマを扱って研究活動を進めています。1) 自律神経活動と運動・身体活動量との関連に関する研究、2) リハビリテーション栄養学、3) 運動効率に関する研究、4) エネルギー代謝に関する研究、5) 癌のリハビリテーションに関する

研究、6) 産業理学療法に関する研究(腰痛を中心に)。

研究については、個人での研究だけではなく、企業との共同研究や多施設共同研究などのプロジェクト研究で進めている内容も多く含まれています。



2013年度開催したオープン・ラボの一角

健康管理センター・学生相談室より



「あったカフェ」を開催しています

今年度から学生相談室・健康管理センター・学生支援協議会共催により「あったカフェ」を開催しています。『出会う・集う・なごむ』そんなひとときを過ごしてもらうため、毎月1回、昼休みに健康管理センターで開催しています。学生さんならどなたでも参加できます。学部・学年を超えておしゃべりしたり、心理ゲーム、クラフトなどをして



過ごします。10月は「コラージュ」を行いました。それぞれが思いのままに画用紙に雑誌などの切り抜きを貼る作業を行い、でき上がった作品にテーマをつけてみました。「かわいい、いいな・・・を集めてみました」「自分の部屋がこうならいいな・・・」など、一人一人個性的な作品ができました。



インフルエンザの予防について

10月23日、近隣医療機関の協力により学生・教職員374名が学内でインフルエンザワクチンの接種を行いました。ワクチン接種は、感染後に発病する可能性を低減させる効果と、かかった場合の重症化防止に有効とされています。

インフルエンザにかからないためには・・・

- 1 ワクチン接種
- 2 飛沫(ひまつ)感染対策としての咳エチケット
 - ・咳やくしゃみを他の人に向けて発しない
 - ・咳が出る時はできるだけマスクをする
 - ・手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗う など
- 3 外出後の手洗い
- 4 適度な湿度の保持
- 5 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- 6 人混みや繁華街への外出を控える

インフルエンザと診断された時は・・・

- 1 登校せずに速やかに電話で大学に連絡してください。
連絡先 053-439-1433(教務事務センター) または 053-436-3016(健康管理センター)
- 2 学校保健安全法に基づき「出席停止」とします。出席停止期間は医師が感染の恐れがないと認めるまでの期間です。
- 3 完治し登校を再開する時に「治癒証明書*」を教務事務センターに提出してください。
*教務事務センターまたは健康管理センターのホームページからダウンロードできます。

インフルエンザにかかったら安静にして、休養をとりましょう。特に、睡眠を十分にとることが大切です。

お知らせ

facebookのご案内

現在、「大学facebookページ」以外に、在学生への連絡・情報提供手段として利用されている「在学生向けfacebookページ」、また卒業生へイベント・情報の発信ツールとして利用されている「卒業生向けfacebookページ」があります。各facebookページではお知らせや最新情報を随時発信しています。



どなたでもご覧いただけますので、是非アクセス⇒「いいね」ボタンをクリックし、大学の様子を知っていただければ幸いです。

- 大学Page → <http://www.facebook.com/seirei.christopher.university>
- 在学生Page → <http://www.facebook.com/seirei.christopher.university.studentpage>
- 卒業生Page → <http://www.facebook.com/seirei.christopher.university.alumnipage>

*facebookとは、実名で登録し、実際の人間関係に基づいてインターネット上でコミュニケーションができるソーシャルネットワークサービスです。

在学生のキャンパスライフをリアルタイム更新中! 学科ごとの特色ある学びの様子をご覧ください

- 看護学部 看護学科 → <http://blg.seirei.ac.jp/ns/>
- 社会福祉学部 社会福祉学科 → <http://blg.seirei.ac.jp/ss/>
介護福祉学科 → <http://blg.seirei.ac.jp/sc/>
こども教育福祉学科 → <http://blg.seirei.ac.jp/sn/>
- リハビリテーション学部 理学療法学科 → <http://blg.seirei.ac.jp/pt/>
作業療法学科 → <http://blg.seirei.ac.jp/ot/>
言語聴覚学科 → <https://sites.google.com/a/seirei.ac.jp/st/>

2013年度 国家試験日程 (2014年)

	試験日	合格発表日
看護師	2月16日(日)	3月25日(火)
保健師	2月14日(金)	3月25日(火)
助産師	2月13日(木)	3月25日(火)
社会福祉士	1月26日(日)	3月14日(金)
精神保健福祉士	1月25日(土)・26日(日)	3月14日(金)
理学療法士	2月23日(日)・24日(月)	3月31日(月)
作業療法士	2月23日(日)・24日(月)	3月31日(月)
言語聴覚士	2月15日(土)	3月27日(木)